

千葉商科大学国府台学会会則（抜粋）

第 2 条 本会は、会員の研究助成とその発表普及を目的とする。

第 3 条 本会は、千葉商科大学の専任教員をもって組織する。

第 4 条 本会は、次の事業を行なう。

1. 機関誌『千葉商大論叢』『千葉商大紀要』の発行。
2. 各種研究会・講演会の開催。
3. その他本会の目的を達成するために相当と認められる事業。

第 5 条 本会に次の役員をおく。

1. 会長 学長がこれにあたる。
2. 運営委員長 運営委員の互選による。
3. 運営委員若干名 会員総会で選出され任期は1年とし本会の事務を分担する。

前 号 目 次

下澤洋一博士をしのぶ	加 藤 寛	寛
下澤先生の人と学問	高 木 泰典	典
	久保田 茂隆	隆

下澤洋一先生 略歴および業績

論 説

景気循環の計量分析	小野塚 芳雄	(1)
日本における5つの静態論	高 木 泰典	(27)
ユビキタス・コンピューティングの動向と課題	久保田 茂隆	(47)
	中 村 昭一	
監査依頼維持の規則処理に関する影響の研究		
—ウィルソンT.E., アポストローB等の所説に沿って—	濱 田 弘作	(65)
事業展開方式の変化と産業盛衰要因に関する研究		
—いわゆるB to B取引の究明について—	影 山 僖一	(89)
多国籍企業のユニット間知識フロー		
—海外子会社の知識獲得と知識移転を中心に—	山 本 崇雄	(123)
量的緩和政策と不良債権問題、構造問題		
—論点整理を中心に—	岩 崎 敬介	(143)

研究ノート

中小企業における社会貢献活動に関して	工 藤 剛治	(177)
潜在財務諸表		
—企業の利害関係者個々の立場からみた財務諸表いわゆる潜在財務諸表に基づく相対的な企業価値とその増減の把握—	片 岡 方 和	(207)

資料・翻訳

エカリウス「J.S.ミルの経済学説への一労働者の論駁」(I)	天 野 光 則	(257)
--------------------------------	---------	---------

抄録		(303)
----	--	---------

そ の 他

平成15年学外研究活動報告		(309)
千葉商大論叢第41巻総目次		(315)